



白石地区が地域防災マップを作成しました

白石一丁目と白石二丁目の自治会（自主防災会）では、昨年8月に発生した豪雨災害で浸水した道路や土砂くずれの危険のある区域、避難場所などを記載した地域限定の防災マップを作成しました。平素から危険箇所の把握や災害時の避難対策に役立つものと期待しています。

地域防災マップの作成について、白石一丁目・田上自治会長と白石二丁目・三上前自治会長にお話を伺いました。

田上自治会長

自主防災組織の役員を中心にみんなで考えながら作成したので防災に対する意識づけができたと思います。このマップを活用した防災訓練にも取り組んでいきたいです。

三上前自治会長

昨年の大雨のデータを元にみんなで協力し合ってより細かく危険な場所を地図に示しました。会員に配布していざというときに役立ててもらいたいです。



災害ごとの避難場所を確認しましょう ～避難場所に看板を設置しました～

問い合わせ 総務課 ☎ 2119

土砂災害・洪水・高潮・地震・津波の災害ごとに避難場所を決めておきましょう

自然災害には、大雨による土砂災害や洪水、地震や津波などがあり、状況によって避難する場所も変わってきます。

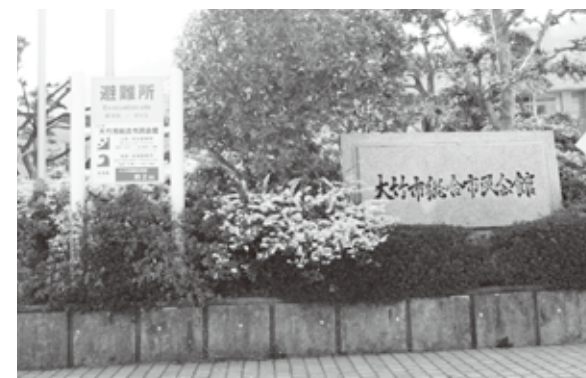
市では、土砂浸水避難地図（ハザードマップ）や地震・津波避難地図を作成して災害の種類に応じた避難場所を指定しています。このたび、市が指定している避難場所などの災害に適した避難場所なのかわかるように看板を設置しましたので、皆さんの地区の避難場所を確認してみてください。

避難場所には、指定緊急避難場所と指定避難所の2種類があります

避難場所には、災害が発生して一時的に避難する「指定緊急避難場所」と大規模災害などで避難が長引いた場合に滞在する「指定避難所」の2種類があります。指定避難所には小・中学校の体育館や総合市民会館、アゼリアホールなどを指定しています。

災害発生前に自主的に避難することもできます

台風が夜間に来そうだが、夜道は不安なので暗くなる前に避難したいなど、早めに避難することも可能です。市の指定する避難場所は、災害の状況によって段階的に開設します。災害発生前に自主的に避難する場合は、市の職員や施設の管理者が日中常駐している施設を利用していただきますので、その際は市にお問い合わせください。



**平素から避難路を
考えておきましょう**

避難場所までの行き方は、自分の住んでいるところによって変わってきますので、あらかじめ隣近所の方と話し合っ
て避難方法を決めておきましょう。



防災行政無線の放送内容を電話で確認することができます

フリーダイヤル



0120-590-131

